

つづきです。

しかし、代表としてのあいさつなんて、大企業でも自慢できる特許がある会社でもないで、何か場違いに感じます。あいさつ文章を載せるのはどうかと正直かなり迷いました。そこで、あいさつにはない本音を…

「安全で品質よく、より経済的にお客様に納品することで活躍していく」ことは、土木工事会社として必然です。丸善建設は、この必然は、当たり前のこととして必ず実行をお約束できる会社です。

ただ私は、当たり前のことを、他社や他者と同じようにしていても、何も面白くないと、常に考えている人間です。社員からは「不思議な発想すぎます」「確かに誰も思いつきません」「答えに困ります」という声も多いですが、決して私の発想を無理強いしたいのではなく、ゴールに向かう道は、常に、複数の経路があるということを忘れずに仕事をしていってほしいという願いを伝えているつもりです。

あふれる情報を簡単に手に入れられるようになった現代、毎日のように、いろいろな人の格言、教え、思いに出会うことができ、そのたびに私は感心感動を繰り返し、すぐに「何ていい言葉なのだろう」と感化されています。それを他者は、自分のポリシーがないと捉えるかもしれません。だから、社長挨拶で皆様に自信をもって伝えられるような言葉が見つからないのかもしれません。

でも、常に柔軟な発想を持っていれば、人間は何歳になっても成長し続けると思うのです。そして、このように成長し続ける人間の集団（丸善建設）を支えることが私の役割です。

…ということで、これからも私は人間的？いえ動物的な「**勢い**」「**直観**」「**ニオイをかぎ分ける力**」を存分に発揮して、丸善建設を発展させていきたいと思います。